

事務事業評価の活用 ~実践上の課題と対応~

自治体の行政経営改革を促し、住民への説明責任を果たしていくうえで有効となる行政評価制度のさらなる活用法や改善策を模索している自治体が増えています。本研修は、事務事業評価を導入している(導入予定を含む)自治体の職員の方を対象とし、研修効果を高めるためのインターバル期間を設け、前期と後期に分けて、下記のとおり実施します。

- 研修のポイント**

 - ◆事務事業評価の仕組みや考え方(目的・指標の考え方・評価視点)について再確認する。
 - ◆事務事業評価の実践上の課題と対応策について考える。
 - ◆事務事業評価をさらに活用する方策や、施策評価へ発展させる手法を学ぶ。

研修の概要

 - 【前期】 事務事業評価運用の課題と対応策について、講義や演習により学びます。
 - 【インターバル期】 メールによる情報・意見交換を通して、前期で学んだ内容を受講者それぞれの職場で実践しつつテーマ研究等をグループを中心に行います。
 - 【後期】 インターバル期間中の取り組み内容等の結果を報告し、講師や他の受講者から助言等を得て、より効果的な評価結果の活用方法や現行制度の改善策を見い出します。

開催要領

日程	【前期】平成28年5月31日(火)～6月3日(金)(4日間) <インターバル研修> 【後期】平成28年10月26日(水)～10月27日(木)(2日間) <small>※初日は入寮日です。入寮の受付は、14:00～15:30となります。日程の詳細は、裏面をご覧ください。</small>
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	事務事業評価を導入している市区町村等で、制度の見直しやさらなる活用策を検討している事務事業評価担当課の職員 <small>※未導入団体の方も受講可能です。ただし、研修内容は、主に導入済み団体の方を対象にしています。 <small>※前期、後期の6日間 全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。</small> </small>
募集人数	30人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 <small>なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。</small>
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経費	19,072円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食4回、昼食5回、夕食4回)、資料等にかかる費用です。 <small>なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。</small>
申込期限	平成28年4月20日(水)まで <small>※申込後、4月当初の人事異動に伴う受講者の変更については、柔軟に対応いたします。</small>
申込方法	JIAMホームページ内「Web申込み」 からお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。 <small>※FAXによる受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(http://www.jiam.jp/doc/)からもダウンロードできます。</small>
受講決定	<small>受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。</small>
事前課題	<ul style="list-style-type: none"> ●研修受講にあたって、事前アンケートに取り組んでいただきます。また、研修のインターバル期間中に、受講者同士でメールによる情報交換(原則として、全員参加)を行っていただく予定です。詳細は、受講決定通知書送付時にお知らせします。 ●受講決定通知書とともに課題図書(購入費用は研修経費に含む。)をお送りしますので、一読のうえ当日お持ちください。
その他	<small>受講決定後のキャンセルにつきましては、受講決定通知書とともに送りする課題図書の経費(実費)を申し受けます。</small>

問い合わせ先 公益財団法人 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部
 〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
 TEL 077-578-5932 FAX 077-578-5906
 [e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <http://www.jiam.jp>

- 最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
- JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
- JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。

JIAMでは、行政評価研修を2本開催します。2つの研修は、それぞれ次のような特徴があります。ご確認の上、申し込んでください。

研修名	研修期間	研修レベル	受講対象者の経験	申込期限	備考
① 事務事業評価の活用 ～実践上の課題と対応～	《インターバル研修》 平成28年5月31日(火)～6月3日(金)(4日間) 平成28年10月26日(水)～27日(木)(2日間)	初任者向け	問いません	4月20日(水)	未導入団体の方も受講可能です。ただし、研修内容は、主に導入済み団体の方を対象にしています。
② 行政評価を核とする マネジメント ～予算・決算、 総合計画への活用～	平成28年7月27日(水)～29日(金)(3日間)	中～上級者 向け	行政評価の担当課での 実務経験が1年以上の 職員※注1	5月12日(木) 予定	行政評価担当課において実務経験が1年未満の方は、上記①の「事務事業評価の活用～実践上の課題と対応～」にお申し込みください。
<small>(内容)事務事業評価の仕組みや考え方について再確認し、実践上の課題と対応策について考えます。その上で、事務事業評価をさらに活用する方策や課題等について、インターバル期間に検討します。</small>					
<small>(内容)行政評価を、予算編成、決算報告、総合計画の策定・進捗管理、人材マネジメントに活用する手法を理解し、運用上の課題について解決方法を考えます。 <small>※注1 他の課において、事業担当者として行政評価シートの作成に従事した期間は含みません。</small> </small>					

【研修の内容及び日程】

5/31
(水曜日)

- 14:00～15:30 入寮受付
16:00～ 開講・入寮オリエンテーション
17:30～ 交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

6/1
(水曜日)

- 9:25～14:10 **【講義】事務事業評価の活用～実践上の課題と対応 I～**
行政経営の考え方を学ぶとともに、事務事業評価の目的や仕組みについて再確認します。その後、現行制度の改善(指標設定などの見直し)に対応するために必要な知識を学びます。
14:25～17:00 **【講義】事務事業評価の活用～実践上の課題と対応 II～**
予算編成への反映、総合計画の策定・管理への活用など、より効果的な事務事業評価の活用方策について学びます。
17:10～18:00 **【演習】グループ討議**
事務事業評価の実践上の課題等についてグループ別に討議を行い、疑問点を抽出します。

6/2
(木曜日)

- 9:25～14:10 **【演習】グループ討議**
講師作成のケースを利用してグループ別に討議を行い、事務事業評価のポイントとなる次の点について理解を深めます。
(ポイント) ・指標設定の考え方 ・事務事業の課題の発見
・課題に対する改善案の検討 ・事務事業評価をさらに活用する方策
14:25～18:00 **【演習】発表・講評・質疑応答・意見交換**
グループ討議結果を発表し、講師から講評していただきます。また、質疑応答、意見交換により、事務事業評価の活用に向けての理解をさらに深めます。

6/3
(金曜日)

- 9:25～12:00 **【事例紹介】塩尻市における取り組み** 長野県塩尻市企画政策部企画課主任 北野 幸徳 氏
予算編成に事務事業評価を効果的に活用することを目指して、行政評価システムに導入した事中評価を中心に、塩尻市の取り組みをお話しいたします。
12:00～12:20 前期閉講 昼食後解散

インターバル期間に行っていたこと

①各グループ設定のテーマに関する意見・情報交換を通じたグループ研究 **【グループ演習】**

- ・前期研修中に、講師のアドバイスをもとに、事務事業評価の活用や制度の見直しに関し、グループごとにテーマを設定していただきます。(参考 27年度のテーマ:実施計画の査定、予算編成(査定)に活用するための事中評価のあり方、首長をその気にさせる評価シートの在り方等)
- ・各グループでメールを利用して、設定したテーマに関して、各自治体での事務事業評価に係る取り組みの中でうまくいっていること・つまづいていること等、情報・意見交換をしていただきます。
- ・グループで行った意見・情報交換による研究をまとめた報告書を作成していただきます。
- ・報告書の他に、グループで意見・情報交換する中で生じた疑問・質問について、グループで取りまとめていただきます。

②各自治体での事務事業評価に関する取り組みの進捗状況に関するアンケートへの回答 **【個別演習】**

インターバル期間中の各自治体での事務事業評価に関する取り組み進捗状況について、アンケートに回答していただきます。

インターバル研修は、過去に受講生された方から、「行政評価事務と並行しながらグループのメンバーや講師との間で問題意識などが共有でき、課題の解決にもつながった」などの感想が聞かれた意義のある研修です。

10/26
(水曜日)

- 11:00～ 入寮受付・昼食
12:45～ 開講・オリエンテーション
13:00～17:00 **【演習】取り組み状況の共有、発表・講評**
グループごとにインターバル期間中の取り組みや、新たに生まれた課題・疑問等について、講師の指導・アドバイスを受けながら意見交換をしていただきます。その後、テーマ研究についての発表を行い、講師から講評いただきます。

10/27
(木曜日)

- 9:25～14:10 **【総括講義・質疑応答】事務事業評価の活用および施策評価への発展**
前日のグループ討議の中で出た共通の課題・疑問点について、講師から解説していただきます。また、事務事業評価をさらに活用するための方策や施策評価へと発展させていく考え方等について、まとめの講義をしていただきます。
14:10～14:40 ふりかえり、研修アンケート記入、後期閉講

講師紹介

関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授 稲沢 克祐(いなざわ かつひろ) 氏

※本研修のご指導をいただきます。
(6月3日(金)を除きます)

2006年から現職。専門分野は行政評価論、公会計論、地方財政論。

外務省政策評価アドバイザー委員、秩父市行政経営アドバイザー、茅野市行政アドバイザー(行政経営分野)等の公職を歴任されています。

主な著書は、「自治体の財政診断と財政計画～決算重視による財政マネジメント～」(学陽書房)、「増補版 行政評価の導入と活用～予算・決算、総合計画」(イマジン出版)、「自治体の予算編成改革」(ぎょうせい)、「自治体 歳入確保の実践方法」(学陽書房)、「英国地方政府会計改革論」(ぎょうせい)等多数。